

○過半以上は職の問題で、工場内に宿舎が設けられており、職員は人部室で就寝する。職員の待遇もよく、会社側へも喜んで貢献の方出でる景況の良さ。

○寄宿舎の問題では、工場内に設けられた宿舎の問題の多くが、職員の福利厚生の良さを示すものである。この問題の解決は、会社側と協議し、大澤協調會名古屋出張所長が一夜

間で、連絡の取れた。

○宿舎の問題は、工場内に宿舎が設けられ、職員の福利厚生の良さを示すものである。この問題は、会社側と協議し、大澤協調會名古屋出張所長が一夜間で、連絡の取れた。

○何卒私達の心情をお汲み取り下さいまして宜敷御配慮願ひます。

昭和八年九月六日

昭和毛糸株式會社彌富工場

法人調査會名古屋出張所

寄宿舎代表 山田千代子

○七日午後工場課では、同工場長阿部莊吉、同社取締役櫻井清氏等を招き、松木工場課長、毛利課停官等と解決案につき懇談したが、會社側強硬にして物別れとなる。

○七日午後六時、辭職者二十二名の退舎を要求したが、龍業女工はこれを拒否し、容易に解決せず、止むなく會社側は寄宿舎員に信頼ある日下部留三郎（同一工場人關係）高野又吉を臨時監査と發表して日下部氏の慰撫により漸く寄宿舎を出した。然も、時午後八時過なるを以て、會社側と協議し、大澤協調會名古屋出張所長が一夜の保護をなすこととして、名古屋駅前丸八旅館に一泊した。

要 求 書